

区域施策編 計画書の目次構成について

○現計画書（素案）は、概ね「環境省マニュアル」に準じた構成でとりまとめています。

○参考として、県内他市の目次構成を以下に示します。

○なお、環境省マニュアルの「⑤地域脱炭素化促進事業に関する内容」は、法令で努力義務（記載するよう努める）が定められていますが、兵庫県は、「地域脱炭素化促進区域」の基準が未策定であること、県内他市も現段階では記載していないことを踏まえて、今回計画では見送ります。

丹波篠山市計画書（素案）	環境省マニュアルに示された構成例	神戸市（令和5年3月策定）
第1章 計画策定の背景 第2章 計画の基本的事項 第3章 丹波篠山市の温暖化の現状 第4章 計画の目標 第5章 目標達成に向けた取組方針と重点的な取組 第6章 計画の推進体制及び進捗管理	①区域施策編策定の基本的事項・背景・意義 ②温室効果ガス排出量の推計・要因分析 ③計画全体の目標 ④温室効果ガス排出削減等に関する対策・施策 ⑤地域脱炭素化促進事業に関する内容 ⑥区域施策編の実施及び進捗管理（マニュアル p.18）	1. 神戸市地球温暖化防止実行計画の趣旨 ※基本的事項、現状、目標を記載 2. 地球温暖化対策に関する取組 (1) カーボンニュートラルを実現するための市域全体の施策 (2) カーボンニュートラルを実現するための神戸市役所の施策 (3) 気候変動の影響に対する施策（適応策） 3. 地球温暖化対策の推進に向けて
姫路市（令和5年3月策定）	明石市（令和5年7月策定）	豊岡市（平成29年5月策定）
第1章 計画策定の基本的事項 第2章 気候変動の現状と影響 第3章 地球温暖化対策の動向 第4章 姫路市の現状 第5章 姫路市が目指す姿と計画の目標 第6章 姫路市の地球温暖化対策 第7章 気候変動の影響への対応 第8章 脱炭素先行地域の取組 第9章 推進体制、進行管理	第1章 計画の背景と趣旨 第2章 本市の地域特性 第3章 将来ビジョンと脱炭素社会実現に向けた基本的な考え方 第4章 計画の目標 第5章 緩和策 第6章 適応策 第7章 計画の推進体制	第1章 目標とする姿 第2章 計画の策定にあたって 第3章 2030年の豊岡市の低炭素な暮らし 第4章 計画の推進に向けて 第5章 資料編
三田市（令和5年3月策定）	宍粟市（令和4年3月策定）	神河町（令和4年3月策定）
第1章 基本的事項 第2章 基本目標 1. CO2排出量の現状 2. CO2排出量の削減目標 3. 再エネ導入ポテンシャル 4. 再エネの導入目標 第3章 施策展開 1. 目指す将来像と基本理念 2. 基本方針 3. 施策体系 4. 施策の方向性	第1章 計画の基本的事項 第2章 計画策定の背景 第3章 二酸化炭素排出量と削減目標 第4章 めざす姿・基本方針 第5章 地球温暖化対策 第6章 計画の進行管理	第1章 計画策定の背景 第2章 神河町の地域特性 第3章 再生可能エネルギー技術の動向 第4章 再生可能エネルギーの利用可能性 第5章 温室効果ガス削減目標及び再生可能エネルギー導入目標 第6章 施策の展開 第7章 目標の実現に向けて
新温泉町（令和5年3月策定）	尼崎市（令和4年1月改定）	宝塚市（令和3年7月策定）
1 計画の基本的事項 2 地域の概況 3 温室効果ガス排出量 4 再生可能エネルギー賦存量 5 計画の目標 6 目標達成に向けた取組 7 計画の推進	第1章 尼崎市地球温暖化対策推進計画の基本的事項 第2章 尼崎市の社会的状況 第3章 これまでの取組と課題 第4章 二酸化炭素排出量の現状趨勢と削減目標 第5章 基本理念と施策体系 第6章 緩和策 第7章 適応策 第8章 進捗管理	第1章 計画策定の背景 第2章 宝塚市の特徴 第3章 温室効果ガス排出量の削減目標 第4章 目標を達成するための対策 第5章 推進体制と進行管理